

第62次安房地方教育研究集会

第13分科会 特別支援教育（言語）

13

一人ひとりのニーズに応じた支援をめざして —保護者との連携のあり方—

(1) 設定理由

ことばの教室に通級する子どもは一人ひとり異なった課題や問題を抱えている。その課題や問題の改善や解決のために保護者との連携は欠かせない。子どものニーズに応じた効果的な支援について保護者との連携の視点から追及していく。

(2) 研究仮説

保護者との連携の事例を収集し、お互いに情報交換、検討していけば、子どものニーズに応じたより効果的な支援のあり方が明らかになるであろう。

(3) 研究内容

事例研究

(4) 結論

ことばの教室担当者同士がお互いの実践を参考にすることにより、連携の工夫や開発の糸口がつかめてきた。連絡帳のやり取りや多くの面談等を通して、親の思いを受け止めることにより、信頼関係ができ、同一歩調で子どもの支援にあたることができるようになった。

13

安房支部

鋸南町立保田小学校

田村 文子